

「公共施設等総合管理計画基本方針（骨太の方針）《建物編》」
を受けた次期改築校の選定について

（付議の要旨）次期改築校を選定したので、報告する。

次期改築校（砧小）の選定にあたっては、平成25年9月に策定した「世田谷区立小・中学校の適正規模化・適正配置に関する具体的な方策（第2ステップ）」の中で大規模校対策の一環としての対応を考慮し進めてきた。

しかし、国はインフラ長寿命化基本計画を策定し、地方公共団体に対し公共施設を総合的に管理するための公共施設等総合管理計画の策定を求めている。

現下、区でも、公共施設等総合管理計画の策定を進めており、この度の「公共施設等総合管理計画基本方針（骨太の方針）《建物編》」の方針策定を受け、次期改築校を選定した。

選定にあっては、学校の年2校の全面改築の原則を見直し、必要な棟のみを改築する棟別改築や敷地の有効活用の点から施設の複合化・多機能化を基本とする手法に切り替える方向で検討している。

併せて、崖地の安全性の確保からも、砧幼稚園との複合化を優先し、次期改築校を砧小学校とする。

なお、今後の次期改築校の選定については、「公共施設等総合管理計画基本方針（骨太の方針）《建物編》」の考えの下、具体的な個別計画を策定し次期改築校を選定する。以下、記載のとおり。

記

- 1 次期改築校
砧小学校
- 2 次期改築校の概要等
裏面のとおり
- 3 選定の主な理由
 - ①敷地北東側の道路拡幅による通学路の安全確保
 - ②敷地内崖地の安全確保
 - ③砧幼稚園の用途転換
 - ④児童数増への対応

4 改築期間および経費

敷地周辺崖地の擁壁の工事が必要となるため、事前調査の結果によるが、通常の学校改築よりも工事期間や経費の増が見込まれる。

5 改築スケジュール（予定）

平成27年度	事前調査等 (崖に関する擁壁の調査、工法検討、改築工事への影響調査、隣地との調整等)
平成28年度	基本構想
平成29年度	基本設計
平成30年度	実施設計
平成31～	建設工事（擁壁工事の進捗状況に合わせて進める）

6 今後のスケジュール

平成27年8月25日	教育委員会
9月2日	文教常任委員会

【参考】

学校施設の概要

1 所在地等

	砧小学校
所在地	世田谷区喜多見6-9-1
敷地面積	11,293 m ²
都市計画等	第一種低層住居専用地域及び第一種住居専用地域、容100%-建50%及び容200%-建60%、第一種高度地区及び45m-第二種高度地区、準防火地域、第二種風致地区、西部地域大蔵・喜多見地区計画区域

2 施設規模

	敷地面積	校舎（竣工）(A)	屋内運動場（竣工）(B)	計（A+B）
砧小学校	11,293 m ²	5,126 m ² (昭和40年度)	597 m ² (昭和45年度)	5,723 m ²

3 児童数の予測（学務課推計）

平成27年5月1日現在

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
砧小学校	450(14)	451(15)	489(16)	513(16)	506(16)	531(17)	529(17)

*（ ）内は学級数、児童数には特別支援学級の児童数・学級数は含まない

*転用後最大教室数：砧小学校（17）